

事務連絡
令和4年10月11日

都道府県連盟事務局長 殿
競技団体事務局長 殿
協力団体事務局長 殿

公益財団法人全日本空手道連盟
事務局長 高橋 昇



空手競技規定運用の追加について

日頃より本連盟事業にはご理解とご協力を賜り深く感謝申し上げます。

さて、今般競技規定に運用について、下記のとおり追加がありましたのでお知らせいたします。つきましては貴連盟会員各位にご周知くださいますようお願い申し上げます。

記

1. 「わかれて一つづけて」における運用の追加

詳細については添付資料のとおりです。

この資料は「全空連ホームページ→Information→審判委員会からのお知らせ」にも掲載しておりますのでご活用ください。

なお、資料への追記、一部削除、表現の変更など、あらゆるアレンジを加えることのないように、原本をそのままご使用くださいますようお願い申し上げます。

以上

本件についてのお問い合わせは

+++++

公益財団法人全日本空手道連盟

事務局長 高橋 昇

〒135-8538 東京都江東区辰巳 1-1-20

日本空手道会館内

TEL:03-5534-1951 FAX:03-5534-1952

E-mail : n-takahashi@jkf.jp

+++++



「わかれて-つづけて」における運用の追加

- ① 主審が「わかれて」を告げるのと同時に競技者が技を出した場合、主審は「やめ」を掛け元の位置に戻り、通常通り試合を再開する — 違反とはならない
- ② 主審が「わかれて」を告げるのと同時に副審2名以上が同競技者に得点の旗を表示した場合、主審は口に手を当てるジェスチャー(正面を向いたまま)をおこなって副審に旗を下ろすように求める — 違反とはならない
- ③ 主審が「わかれて」を告げたにもかかわらず片方、又は両方の競技者が掴んだままの場合、主審は口に手を当てるジェスチャーをおこなう。副審の同意を得たあと片方、又は両方の競技者にカテゴリー2を与える — 15秒未満であってもC2の忠告を与える

運用時の留意事項

- ・そんなに厳しく取り過ぎない
- ・接近戦のケースをも認識する
- ・競技性と戦術性を理解する
- ・告げるときは大きく、明確に
- ・「わかれて」・「つづけて」を告げる場合、正しい距離と位置でおこなう
- ・「わかれて」のあと手を降ろすことなく「つづけて」を発声する

2022年10月2日

(公財)全日本空手道連盟審判委員会
委員長 高橋 和夫

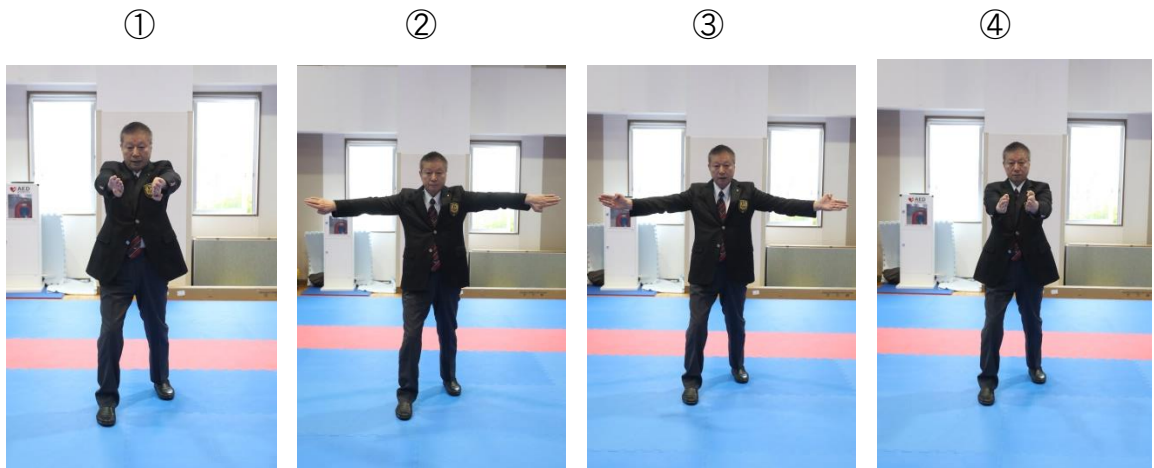


「わかれて-つづけて」 & 「不活動」

1. 「わかれて-つづけて」

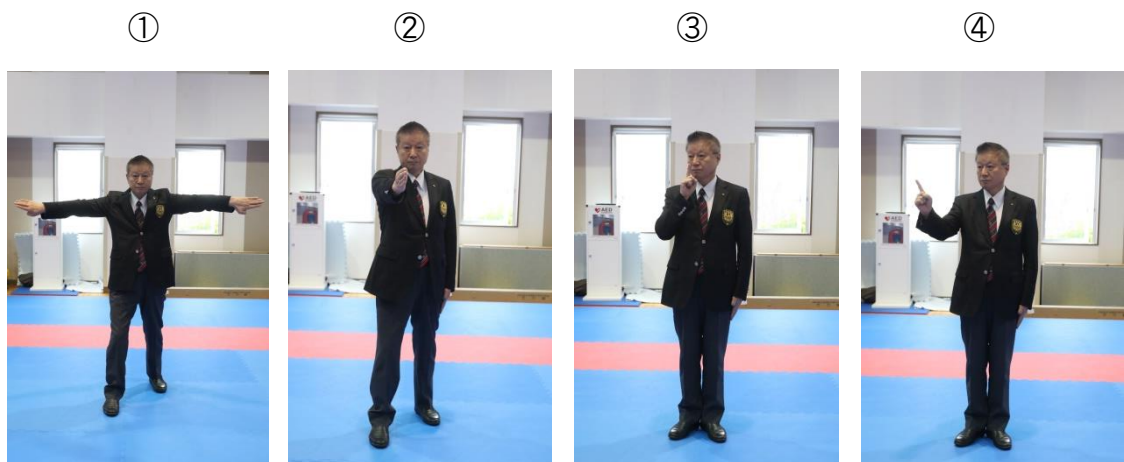
- 1) 競技者がわかるまで手の平を離し、その後両手を合わせ「つづけて」の合図をおこなう。主審が「わかれて」を告げたとき競技者が得点技を出した場合副審は得点の旗表示をしてはならない。

説明 「わかれて」と発声し双方の競技者が分かれたことを確認したなら直ぐにそのまま手を下ろすことなく「つづけて」のゼスチャーを行う。①から②までの間に技を出してはいけない。この間に技を出した場合 C2 の違反となる。腕の開きが小さくならないように肩ほどの高さで明確に行う。



- 2) 片方、又は両方の競技者が技を出した場合、主審は人差し指を唇にあて副審の同意を得てカテゴリー2の違反を与える。

説明 主審は違反した側の選手の方を向く。赤が違反の場合は右手を、青の場合は左手を唇の前に置く。③主審は同意を求める補助動作をしたあと C2 を宣告する。副審の旗表示は③のときにおこなう。



3) 競技者が過度の接触をした場合、主審はヤメを掛けカテゴリー2とカテゴリー1の両方を順番に与える。

説明 主審は競技者が過度の接触をした場合、必ずC2(③・④)を先に与え、そのあとC1(⑤・⑥)を宣告。いずれの場合も副審に同意を求める。

①



②



③



④



⑤



⑥



・「わかれて-つづけて」は競技時間の開始から終了するまでの間、使用することができる。
(15秒未満を含む全競技時間)

・「つづけて」&「不活動」は15秒未満で使用することはできない。

2. 「不活動」

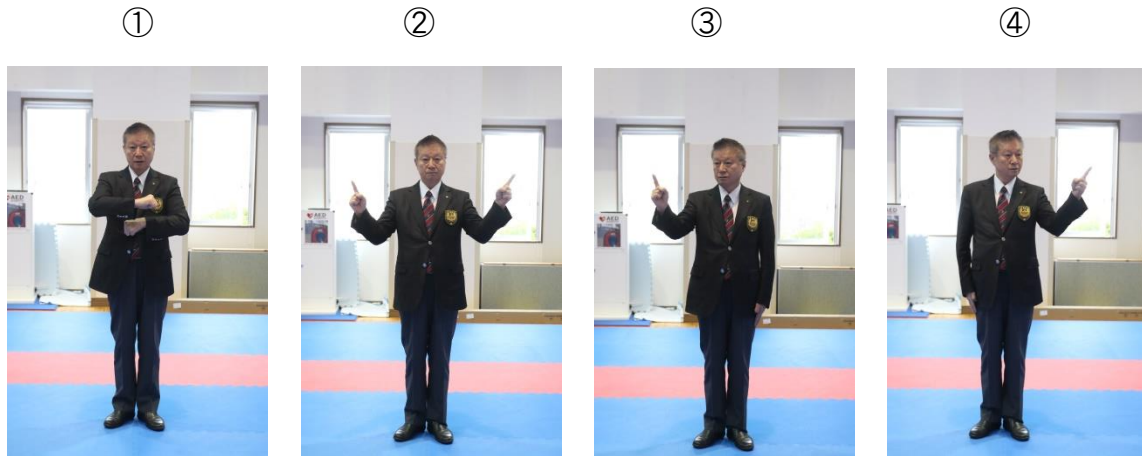
1) 不活動は得点、又は先取でリードしている競技者に与えることはできない。

青		赤	カテゴリー2
0	—	0	赤と青の両者
3	—	3	赤と青の両者
2	—	1	赤のみ(同時得点・先取なし)
✓ 2	—	2	赤のみ
✓ 1	—	5	青のみ

2) 両方に与える場合

不活動の補助動作を行い、両方の競技者にC2の違反を示す、副審の同意を得てカテゴリー2を与える。

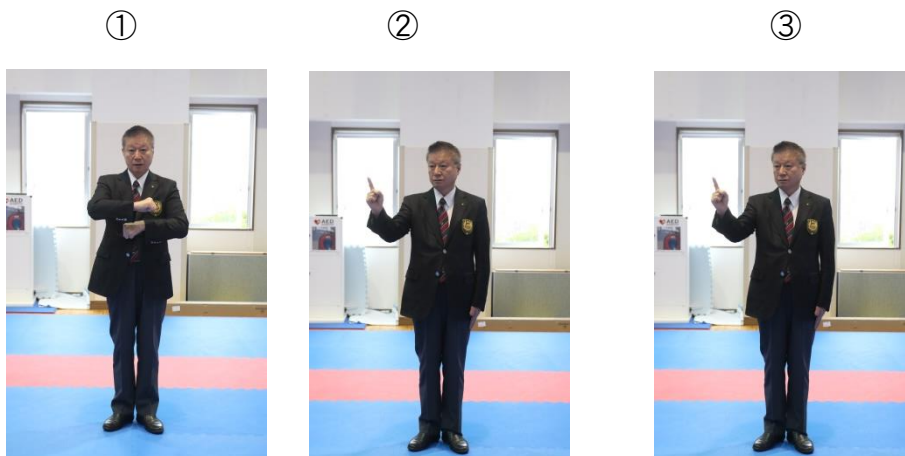
説明 主審は腕を回し、同時に両手で②の動作を行う。その後手を下ろし、それぞれ(③・④)にC2を宣告。副審は②の動作のとき、同意をするなら旗表示を行う。



3) 片方に与える場合

不活動の補助動作を行い、どちらか与える側の競技者にC2の違反を示す、副審の同意を得てカテゴリー2を与える。

説明 副審は主審の②の動作の時に同意をするなら旗表示を行う。その後C2を宣告。②の場合は同意を求める補助動作。③で宣告。



2022年4月1日

(公財)全日本空手道連盟審判委員会
委員長 高橋 和夫